



広島大学

クラウドファンディング 挑戦中

目標金額：300万円

期限：2020年1月16日(木)23:00まで



<https://readyfor.jp/projects/bousai-gagarayama>

豪雨災害で犠牲者を出さないために。

土石流の被害を防ぐ 広島ががら山実証実験プロジェクト、始動。

広島大学の敷地内にある“ががら山”。土石流が発生したこの山を実験フィールドとして、「観測井*」と地下水のデータを集めるための機器や、地形の観測を行うための「GPS/GNSS衛星測位システム」を設置することで、これまでにないデータの取得が可能に。土石流の発生メカニズムの解明へつなぐプロジェクトが始まります。

広島大学では、平成30年7月豪雨災害から2か月後に防災・減災研究センターを立ち上げました。土砂災害と洪水、内水氾濫が複合的に発生し、広範囲に被害をもたらす「相乗型豪雨災害」のメカニズム解明と災害を未然に防ぐため、若手研究者を中心に早期検知システムの開発に取り組んでいます。土石流発生メカニズムの解明とその予測につなげていくために、地下水の水温観測に加えて、山体全体における地盤内の水の動きや地下水位上昇での地形のわずかな変化の観測等が必要です。最終的な全体システムとして、ががら山及び鏡山に水位観測井4か所、雨量計4か所、軽量計4か所、水位計(池)3か所、衛星測位システムを設置し、山体全体での水の動きを把握するシステムを構築していきます。そのシステム構築の第一歩となるプロジェクトへご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

*地下水調査のために掘削する井戸

レディーフォー 広島ががら山実証実験



このプロジェクトはAll or nothing形式です。2020年1月16日 23時までに300万円以上集まった場合に成立となります。